

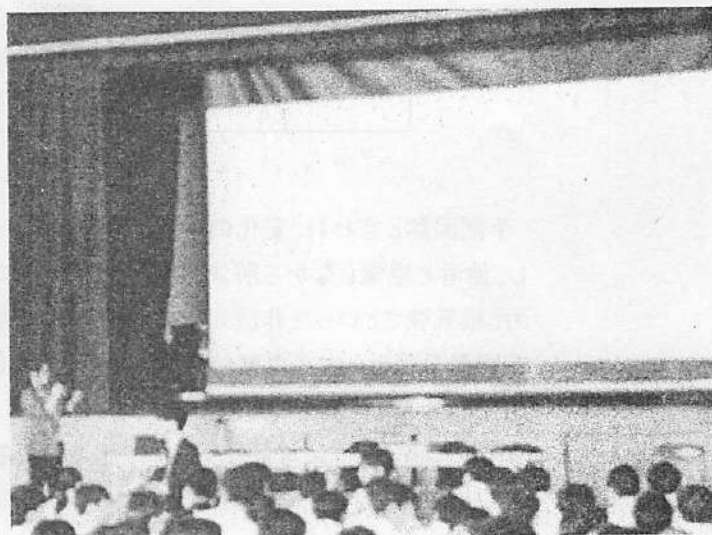
令和7年8月19日

第75次 印旛地区教育研究会

進路指導部会 提案資料

研究主題

自己実現を図ろうとする態度を育成するための実践



第5部会 四街道市立四街道北中学校

教諭 平尾 弘恵

教諭 細川 真咲貴

1、研究主題

自己実現を図ろうとする態度を育成するための実践

2、主題設定の理由

(1)学習指導要領

「今の子供たちが成人して社会で活躍する頃には、生産年齢人口の減少、グローバル化の進展、技術革新等により、社会構造や雇用環境が急激に変化し、予測困難な時代になっている。また、人工知能が飛躍的な進化をとげ、雇用の在り方や学校において獲得する知識の意味にも、大きな変化をもたらす予測がされている。このような時代にあって、学校教育には、子供たちが様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことや、様々な情報を見極める力が求められている。」とある。

中央教育審議会答申においては、「予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身につけられるようにすることが重要である。」とある。

(2)千葉県教育の目指す姿 基本理念

人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る「人」の育成
～ 一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自分らしく活躍するために～

予測困難と言われ、変化の激しい時代においては、子供たちが変化を前向きに受け止め、自ら課題を見出し、他者と協働しながら解決に取り組むために、単なる知識の蓄積ではなく、創造性や協調性、課題解決力、根気強さといった非認知能力の育成が重要と言われている。デジタル社会に対応できる能力と、変化や多様性を受け入れる柔軟性と寛容さ、人間らしい思いやりを併せ持った、心豊かな子供たちの育成を目指す。このような資質を備えた子供たちこそが、しなやかに自らの幸せを追求しつつ、国家と地域社会の平和と成長に貢献し、持続可能な未来の創り手になる、大切な「人」だと明記されている。

(3)「自己実現」の定義

特別活動の指導要領には、「集団の中で、現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする視点」だと明記されているが、一般的には、自己実現力とは、自分の目標や夢を実現するために、自ら考え、行動し、成長していく力のことだとされている。本主題の「自己実現」は、今後求められる人材育成に向け、両者を合わせ、「他者と協力し、現在及び将来の自己の生活の課題や社会の課題を発見し、自ら考え、改善しようと行動し、成長していく力」と定義することとする。

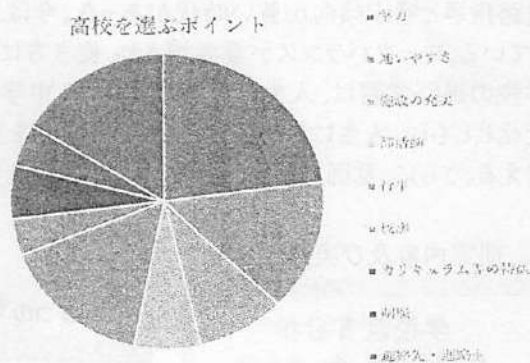
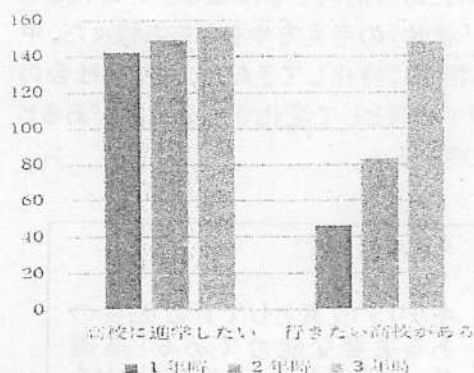
上記(1)(2)から、国も県も、変化の激しい時代を、主体的に、他者と協働し、様々な情報を見極め、課題解決をし、自分と社会の幸福を創っていく生徒の育成を目指していることが分かる。自己実現力を養い、人生をしなやかに切り開き、自分なりの人生をつくっていく力を養いたいと考え、本主題を設定した。また、自分のことだけでなく自分の能力を活かし、社会貢献できる生徒の育成も図りたい。

3、学年生徒の実態（3学年 156名）

4クラス編成で、1クラス38名から40名で構成されている。1クラスの人数が多いので、担任が1人1人と向き合う時間が取りにくい環境にあるが、学年職員全員で指導にあたり、きめ細やかな対応を心がけている。担任は4人中2人が20代、1人が30代前半、1人が60代、男女2名ずつと、バランスが良く、パワーのある担任構成となっている反面、経験年数が浅い担任が多いこともあって、学年で同じ内容で特別活動を行うことが多い。進路学習についても、学年で足並みを揃えて行っている。また、担任と学年主任は1年生からの持ち上がりとなっていて、指導の積み重ねがある。生徒、保護者と教員の関係は良い。

生徒は、中央小学校、学年2学級の小規模校の栗山小学校、全体の15%が外国籍の大日小学校の、特徴が様々な3つの小学校から入学してくる。家庭環境は様々だが、比較的落ち着いた家庭が多く、学校教育にとても協力的である。

生徒は、素直で優しい生徒が多く、学級だけでなく、学級を超えて、学年全体で仲が良い。行事や授業などにも前向きに楽しんで取り組める学年である。ただ、自分1人で目標に向けて努力したり、先を見据えて計画的に取り組んだりすることが苦手な生徒が多い。学力が低いことも特徴で、原因としては、自分に合った学習法を確立できていなかったり、楽観的な考え方の生徒が多かったりするためだと考えられる。また、アフガニスタン国籍の生徒を中心に外国籍生徒が学年に11人おり、国籍は多岐に渡る。日本語の理解が十分でない生徒も多く、授業だけでなく、日頃から、文化の違いや考え方の違いもあり、丁寧な指導が必要となっている。保護者は、本人たち以上に、日本語力がなく、大事な連絡も生徒から伝えたり、保護者面談も本人が通訳として同席したりする。進路については、より丁寧に、より寄り添った指導が必要不可欠であり、出願をはじめ、受験時には学校として丁寧に対応していく必要がある。1学期末時点の長欠生徒は、4名となっている。担任や学年職員との関係は良好で、いずれも、進学を希望している。



「高校に進学したい」
1年生:142名
2年生:149名
3年生:156名

「行きたい高校がある」
1年生:46名
2年生:83名
3年生:148名

「高校を選ぶポイント 2年時」複数回答

学力:138名 通いやすさ:86名 施設の充実:53名 部活動:42名 行事:95名
校訓:24名 カリキュラム等の特徴:35名 制服:28名 進路先:98名

1年時のアンケートでは、学級会などで、自分の意見をはっきりと言えるかという問いには、69%の生徒が言えないと答えている。理由は、「嫌われたくない」「恥ずかしい」「自分の意見よりみんなの意見を優先すればいいから」「前に嫌な思いをしたことがあるから」などがあがった。実行委員や委員会活動は好きかの問いには、38%の生徒が好きと答え、45%の生徒が嫌いと答え、17%の生徒がどちらでもないと答えている。嫌いと答えた生徒は、「面倒くさいから」「みんなが言うことを聞いてくれないから」「楽しくないから」などの理由があがった。また、自分に合った学習方法を確立しているかの問いには、23%の生徒が確立していると答え、多くの生徒が学習方法の悩みを抱えていた。

4. 研究仮説1

学級や学年における人間関係をよりよく形成するための取り組みや、自分の役割を果たす取り組みを意図的に行えば、生活の課題を見出し、協働して解決する力や、それを成し遂げるための実践力が身につくだろう。（人間関係形成・社会形成能力）（課題対応能力）

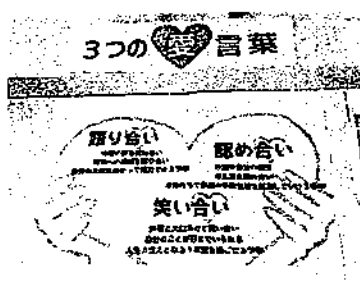
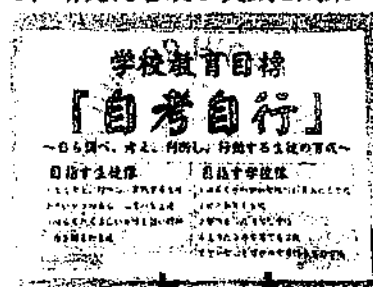
学級生活の充実と向上に向けて、自分ごととして課題を見出し、合意形成し、他者と協働して実践、解決するということの繰り返しは、ひいては、自己の課題の解決及び将来の生き方を描くための意思決定をする力が身に付くと考え。中学生は、一般的に他人の目が気になったり、考えの違いから摩擦が起きないように当たり障りのない意見をしたりと、自分の意見を主張することを躊躇しがちである。課題に対しては、1人1人が自分なりの意見や意思をもった上で、合意形成をしないと、主体的に取り組もうという意欲とその後の実践にも差が生まれてしまう。そのため、1人1人の思いや願いを意見として出し合え、互いの意見の違いや多様な考えがあることを需要できる素地が必要だと考え、研究仮説を設定した。また、役割や仕事を決め、全員で分担し実践することで、自分が学級のためにできることを探したり、考えたりし、意思をもって主体的に取り組め、課題対応能力が養われると考えた。学年や学級の課題解決の実践を重ねることで、粘り強く、課題と向き合える生徒を育成していきたい。

研究仮説2

自己の個性や学習状況、将来の生き方などについて考え、課題を見いだす機会を増やせば、主体的な進路選択ができるだろう。（自己理解・自己管理能力）（キャリアプランニング能力）

文部科学省キャリア教育の手引きの進路指導の定義にもあるように、戦後の高度経済成長期において、大企業を中心として終身雇用制が定着し、その流れと表裏一体となって学歴・学校歴が偏重される傾向が長く続いた。中学校では、卒業直後の進学・就職のみに焦点を絞り、入学試験・就職試験に合格させるための支援や指導に終始する実践が見られ、社会的評価の高い高等学校への合格を目指す指導が顕著となり、「出口指導」をもって進路指導と呼ぶ傾向が強い時代があった。今は、就職後に、キャリアアップのための前向きな転職も多い時代となっている。ワークバランスが重要視され、働き方についても多様化している。「幸せ」の考え方や在り方も様々だ。中学校の進路学習は、人生の中の1部である中学校卒業後の進路を決める指導に特化してきたが、そんな社会の変化とともに、人生における自分らしい生き方を実現していく力を養うキャリア教育として変化させる必要があると考える。さらに、意図をもって選んだ高校では、充実した学校生活を送れると考える。

5. 研究内容及び実践と成果



『学年目標』

キャリア教育として育む必要のある主要な能力である「基礎的・汎用的能力」を育てることを目標とし、学年経営の中で取り組んでいる。

学年目標 『3つの愛言葉』

『学校教育目標』

四街道北中学校では、様々な場面で、自分の生き方の重要性を説き、意図的に自分で考えさせている。

語り合い

仲間の夢を笑わない
将来への希望を語り
合い
自分の未来に向か
って努力できる学年

認め合い

仲間や自分の個性や
考え方を認め合い
自分たちで最高の学
校生活を創造してい
ける学年

笑い合い

仲間と大口を開け
て笑い合い
自分のことが好き
でいられる人生の
支えとなる1年間
を過ごせる学年

- ① 学級や学年における人間関係をよりよく形成するための取り組み（人間関係形成・社会形成能力）
- ・教室や廊下の掲示物の効果的な活用の工夫
 - ・学活等におけるオクリンクプラスの効果的な活用の工夫
 - ・行事の事前指導、当日の活動、事後指導の効果的な活用の工夫
 - ・他者を認める活動の工夫
 - ・学年レクの充実

【オクリンクプラスの活用】



【掲示物の活用】



② 役割を果たす取り組み（課題対応能力）

- ・評議会や委員会などの積極的な運営方法の工夫と活発な自治活動の取り組み
- ・実行委員会の積極的な運営方法の工夫

【評議員が毎週考える学年の目標】

3 学年 今週の目標

挨拶・歌・清掃 輝かせよう！

具体的な手立て

1 学期、毎週の目標達成に向けて学年で頑張ってきました、さようスト1週間！

- ① 相手に伝わる声やかな挨拶をする
 - ② 毎日の宿題で学力を輝かせる
 - ③ チャイムからチャイムまで一生懸命掃除する
- 全部に心を込め、みんなで意識して、いい思い出づくりをして夏休みを迎えよう！

【校外学習実行委員の活動】



【体育祭実行委員の活動】

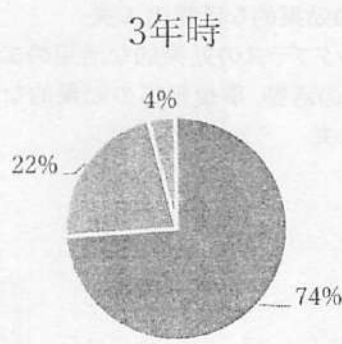
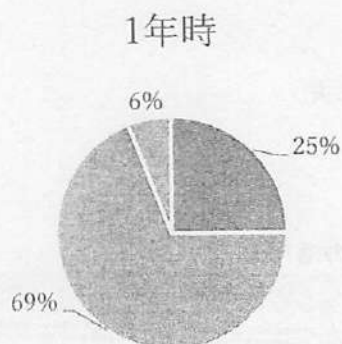


(2) 成果

【学年レクのスローガン】



【自分の意見をはっきり言えるか】



【1年時】

言える : 25%
言えない : 69%
その他 : 6%

【3年時】

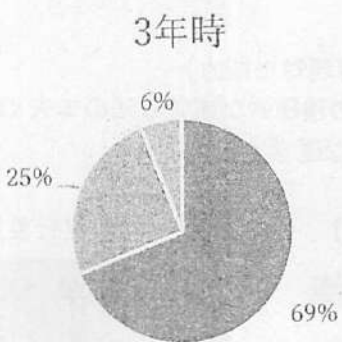
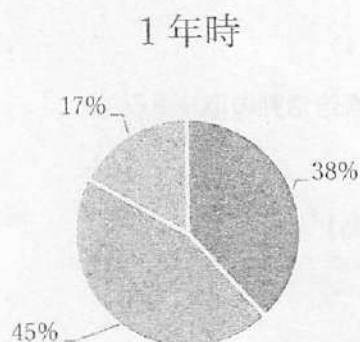
言える : 74%
言えない : 22%
その他 : 4%

■ 言える ■ 言えない ■ その他

■ 言える ■ 言えない ■ その他

自分の意見をはっきり言えると答えた生徒が25%から74%に増えた。理由は、「自分の意見が反映されることがうれしい。」「自分もクラスの一員だから、ちゃんと意見をもちたいから。」「意見を言った時に、友達が褒めてくれたり、認めてくれたりすることがうれしいから。」「みんなが意見を出し合った方が、もっといい意見になるから。」「色々な意見が出た方が面白いから。」など、自分が意見をすることで、プラスの効果を感じるようになった生徒が増えたため、自分の意見を言いたいと思える生徒が増えた。

【実行委員や委員会活動等は好きか】



【1年時】

好き : 38%
嫌い : 45%
どちらでもない : 17%

【3年時】

好き : 69%
嫌い : 25%
どちらでもない : 6%

■ 好き ■ 嫌い ■ どちらでもない

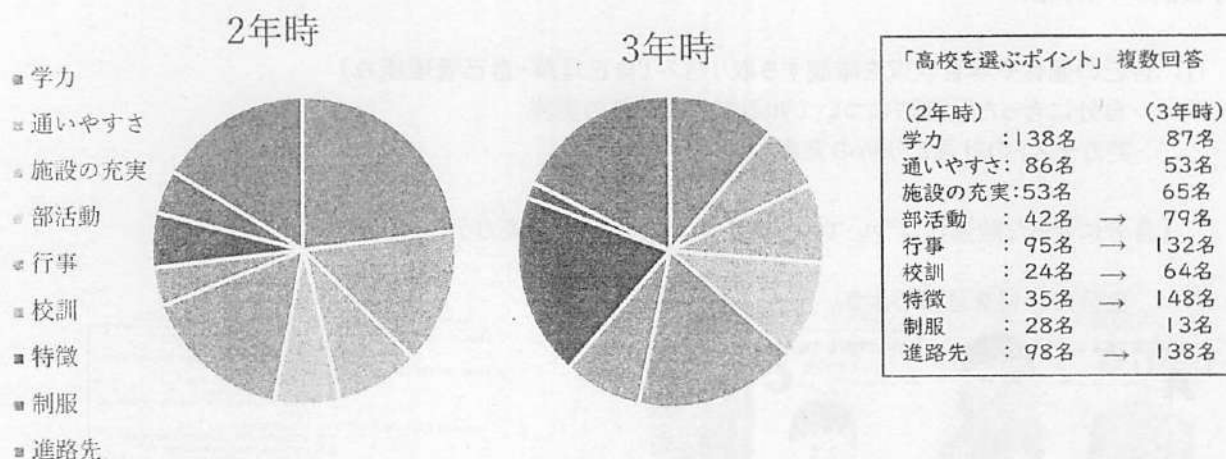
■ 好き ■ 嫌い ■ どちらでもない

実行委員や委員会活動等は好きだと答えた生徒が、38%から69%に増えた。理由は、「みんなのために自分で考えたことを形にすることが楽しいから。」「自分がかんばることで、みんなが楽しんでもくれることがうれしいから。」「行事を成功させるために、自分で色々考えたり、指示を出したりすることが楽しいから。」「達成感を感じられるから。」「みんなが協力してくれて、もっとみんなのことを好きになれるから。」「自分の力で、学校生活がよくなるのが楽しいから。」などがあつた。自分の意見や考えが反映され、自分たちが学校生活を良くしているという自信が意欲につながっていることが分かる。また、他者のために尽力したいという気持ちをもつ生徒が増えたため、自分本位でない考え方をできるようになり、それが、その他の生徒たちからの協力を得やすくしており、好循環を生んだことが分かった。

互いの良さを認め合えると、意見が言いやすくなり、自分の願いが尊重されることで、所属感や成就感が得られ、主体的に学校生活に関わろうとし、より良い生活を目指し、自分ごととして、生活の課題を見出し、課題解決に向けて、協働し実践できる生徒が増えた。

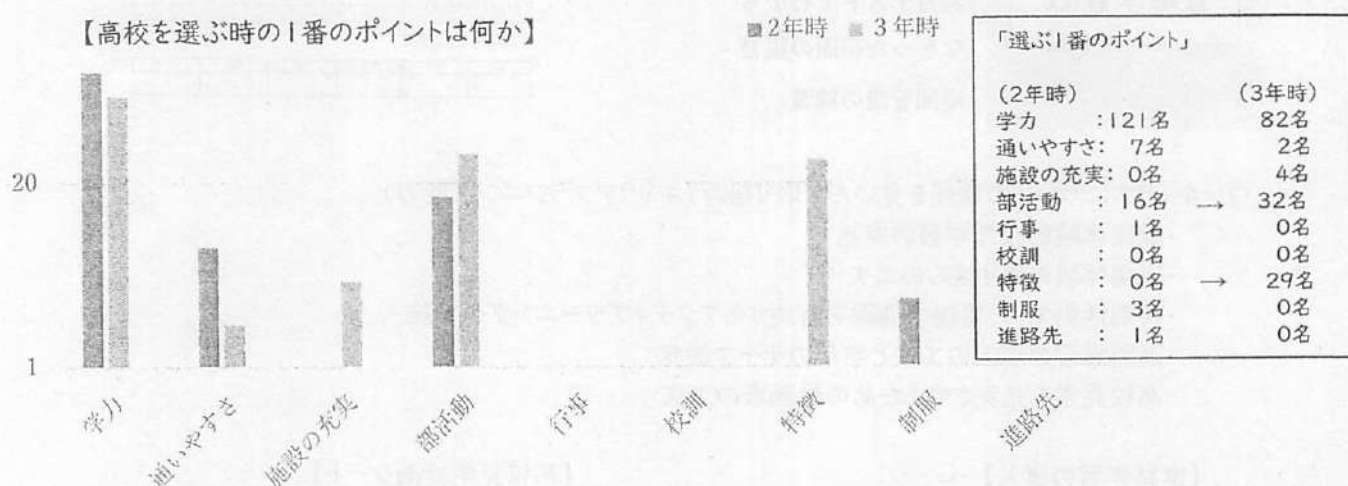
(4) 鐵線

【高校を選ぶ時のポイント】



高校選びのポイントを複数回答させたアンケート結果では、学力以外に、特徴を重視する生徒が増えたこと、進路先の状況についても着目する生徒が増えた。「なりたい自分」「なりたい大人」から逆算して進路選択をするためには、各高校の特徴についても知り、高校卒業後のことも考える必要性があると、生徒が気づいたからだと考えられる。また、行事や部活動を重視する生徒の人数がかなり増えた。中学校生活での充実感により、高校でもがんばりたいという意欲が高まった成果だと考えられる。

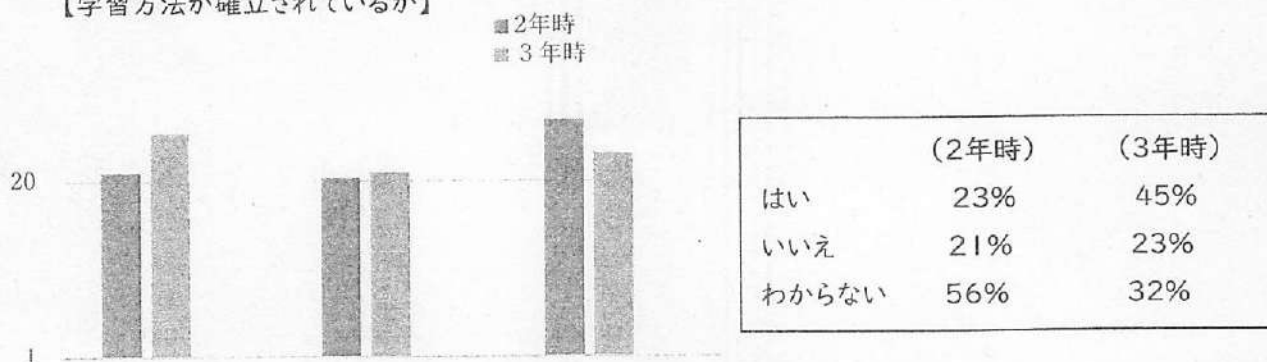
【高校を選ぶ時の1番のポイントは何か】



高校を選ぶ時の1番のポイントは、2年生の時には、121名の生徒が学力重視と答えていた。理由は、「今の学力だで行ける高校が少ないから」「高望みしても、受験で合格しないから」など、自分の実力に見合う高校を選ぶしかないという理由の生徒と、「今行ける高校の中で、1番学力の高い高校に行きたいから」「学力の高い高校に行けば、大学も行きやすくなると思うから」など、できるだけ学力の高い高校に入学したいという思いの生徒がいた。通いやすさや制服を重視する生徒は、高校で何を学びたいかを考えていない生徒が多かった。

3年時でのアンケートでは、カリキュラムなどの特徴や施設の充実度を重視する生徒が増えた。「なりたい自分になるための必要な特徴がある高校選びがしたい。」という理由がほとんどだった。学力を第1優先とした生徒が、2年時と比べて39名少なくなったのは、高校で何をしたいのかという目的をもって、主体的に高校選びをしはじめた成果だと感じた。

【学習方法が確立されているか】



確立されているという生徒は23%から45%となった。人にはそれぞれ特性があって、特性に合った学習方法があるということを知り、自分に合った学習方法を見つけられた生徒が増えた。いいえと答えた生徒や分からないと答えた生徒が全体の半数近くいるが、「自分に合った学習法を試行錯誤中」「もっと良い学習法があるのかもしれない」などの意見もあり、しっかりと自分の課題と向きっているからこそ、確立したとはまだ言えないと考えている生徒も一定数いることが分かった。

人生全体を見通してキャリアプランニングをする指導をしていくと、高校に行くことがゴールではなく、高校は、なりたい自分になるための手段であることに気づき、自己実現のために、高校調べや高校選びを生徒自身が主体的に行うようになった。

5 課題

自分達で考えて、自分達の生活を創っていくという、わがままになりがちだったり、歯止めがきかなくなってしまう可能性もあるので、意義をはき違えないように常に指導していく必要がある。また、教師側の姿勢がぶれないことが大事だ。主体的に行動しなさいと言っておいて、結果だけを見て、理由や考えを聞かないで指導してしまうと、生徒の主体性が育たない。生徒を信じて、考えさせたり、やらせてみたりし続ける必要がある。今回は、学校として、「自考自行」という学校教育目標が前提にあり、教師側にも、生徒側にも、自分で考えさせる、考えるという意識が根底にあったことが大きかった。素地のないところで取り組む場合の、「なぜ自分で考える必要があるのか」という指導に工夫と時間がかかることが課題だと考える。また、生徒主体で活動させてはいるものの、実際の多くは、教師側の見えない仕掛けのもと、生徒が動き出している、教師側の事前の準備が必要で、目的や細かい設定、取り組み方、到達すべき生徒の姿などの共通認識をしておく必要があり、そのためには、早い段階からの計画が必要となった。卒業までには、教師側の仕掛けがなくても、本当の意味で生徒主体で様々なことに課題を見出し、力を合わせて解決しながら、4月に考えた「卒業の日になっていた自分」や各クラスで考えた「卒業の日になっていたクラス」に近づけるよう支援していきたい。

なりたい自分になるための進路選択をしようと言い、生徒も今は一生懸命、なりたい自分を探し、なりたい自分になれる高校をほとんどの生徒が探しているが、進学以外の選択をする生徒がいることも念頭におき指導していく必要がある。これから、受験校を決めていく時には、学力で進学先を選ぶ以外に選択肢のない生徒もいる。選択肢を増やせるような学習のサポートや、少ない選択肢の中でも、生徒の願いに合った高校選びができるよう助言できるかどうかも課題だと考える。また、課題の1つとして、実力テストの分析や自分に合った勉強法を見つけさせたりし、学習の取り組み方や意識に変化はあったが、第1回実力テストの結果と第2回実力テストの結果にあまり変化がなかった。研究の成果を、テストの点数向上としても反映させるには、長期的に見守る必要があるとは思いますが、研究と両輪で学習指導や授業の充実についても、学年で取り組む必要があると感じた。

【学校教育目標】



四街道北中学校では、様々な場面で、自分で考えることの重要性を説き、意図的に自分で考えさせている。

先生たちは日頃から、

「どうしたいのか」
「どうしてそうしたのか」
「どうすれば良かったか」
「どうしていけないのか」

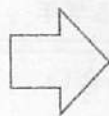
と、自分で考えさせる指導をしている。

～自考自行をさせる具体的な場面～

① 授業中の水分補給について

(基本ルール)

- ・定期テスト時以外は、授業中でも、水分補給をして良い
- ・水筒は、机上や床には置かず、机の脇にかけること
- ・ペットボトルは、カバーをつけること
- ・中身はスポーツドリンクかお茶



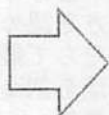
(生徒が考えること)

- ・その時間、水分補給をしたくなるか
→ 水筒の置き場
- ・机脇にかけるか
- ・ロッカーに置くか
- ・いつ飲むべきか
→ 授業のさまたげや、先生に失礼にならないタイミングはいつか

② クールビズ中の服装について

(基本ルール)

- ・基本は制服
- ・暑ければ、半袖体操服・ハーフパンツで登下校・授業を受けても良い
- ・体操服で授業を受けていて、寒くなったからと行って、ジャージは着ない



(生徒が考えること)

- ・どちらを着用するか
→ 気温
- ・体育などの着替えの都合
- ・体育後のエアコンでの体の冷え具合

【学年目標】



キャリア教育として育む必要のある主要な能力である「基礎的・汎用的能力」を育てることを目標とし、学年経営の中で取り組んでいる。

発達段階や生徒の実態に応じて、目標を変化、レベルアップさせてきた。

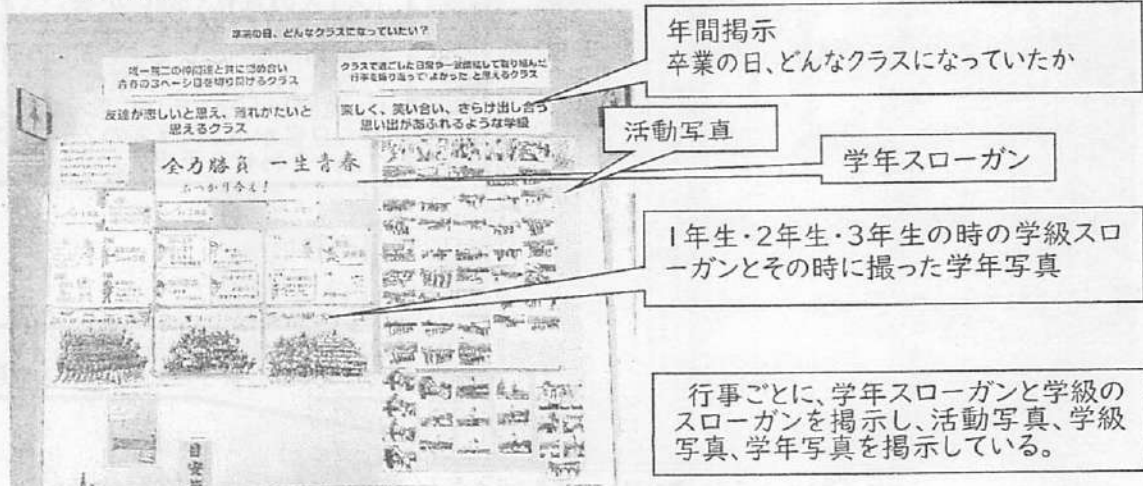
学年目標 『3つの愛言葉』

1年時	さらけ出し合い	認め合い	笑い合い
	失敗や間違いを恐れない、笑わない仲間のやる気をバカにしない自分をさらけ出し合い高め合っている学年	仲間や自分の個性、考え方を認め合い自分の良いところを誰かのために役立てられる学年	仲間と大口を開けて笑い合い全員が安心して学校生活を送れる温かい学年
2年時	さらけ出し合い	認め合い	笑い合い
	仲間の失敗を笑わない自分のやる気をさらけ出し合い成長していける学年	仲間や自分の個性考え方を認め合い充実した学校生活を創造していける学年	仲間と大口を開けて笑い合い自分が自分でいられる居心地がいい学年
3年時	語り合い	認め合い	笑い合い
	仲間の夢を笑わない将来への希望を語り合い自分の未来に向かって努力できる学年	仲間や自分の個性や考え方を認め合い自分たちで最高の学校生活を創造していける学年	仲間と大口を開けて笑い合い自分のことが好きでいられる人生の支えとなる1年間を過ごせる学年

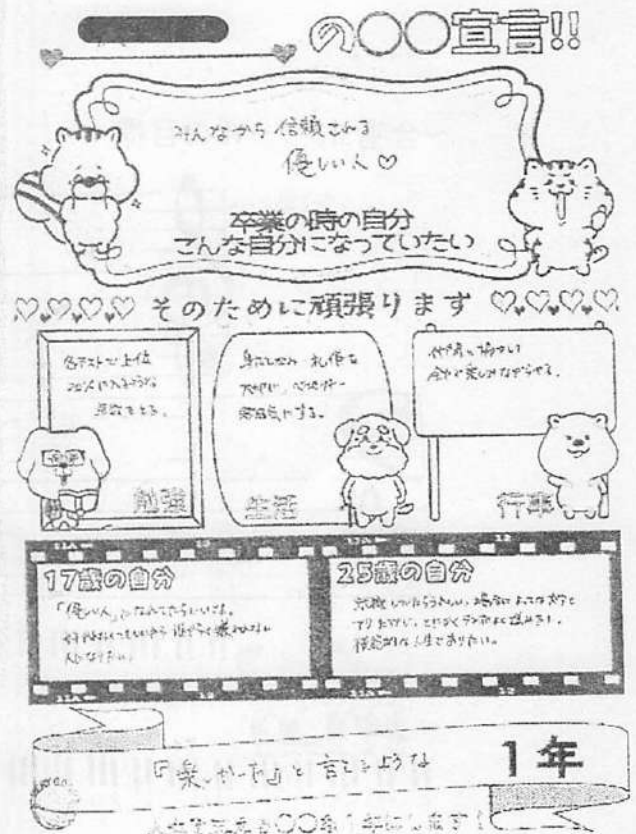
【仮説Ⅰの取り組みと成果】

(1) 学級や学年における人間関係をよりよく形成するための取り組み (人間関係形成・社会形成能力)

① 教室や廊下の掲示物の効果的な活用の工夫 【学年廊下】

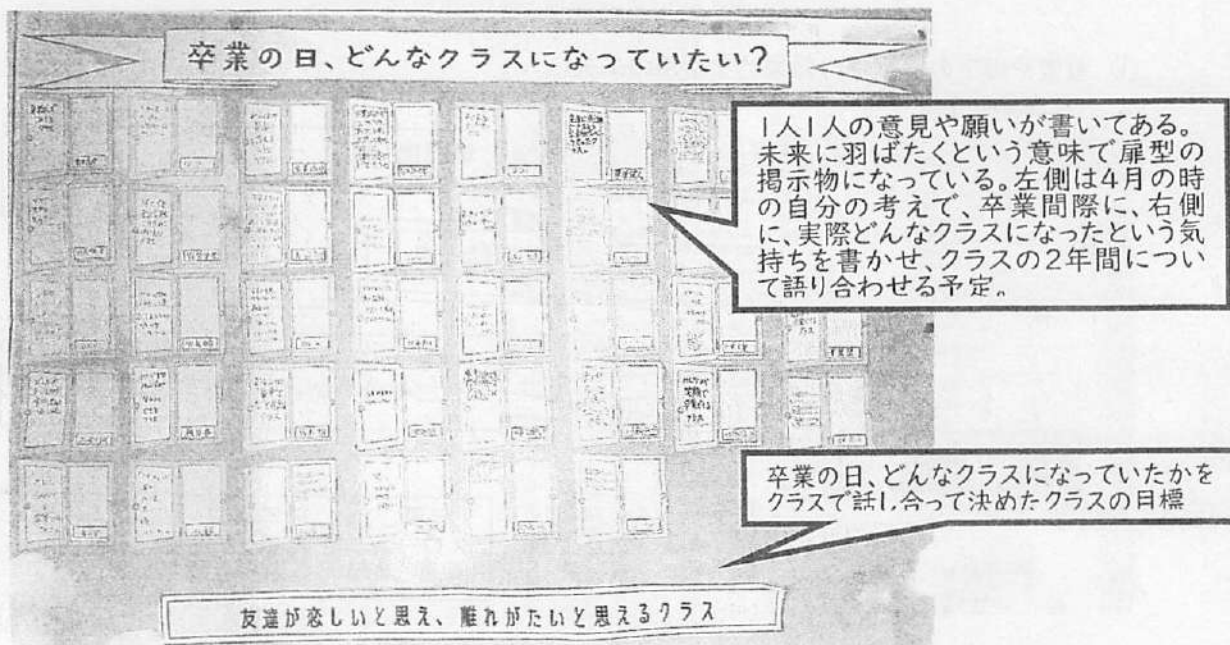


【廊下の個人新聞】

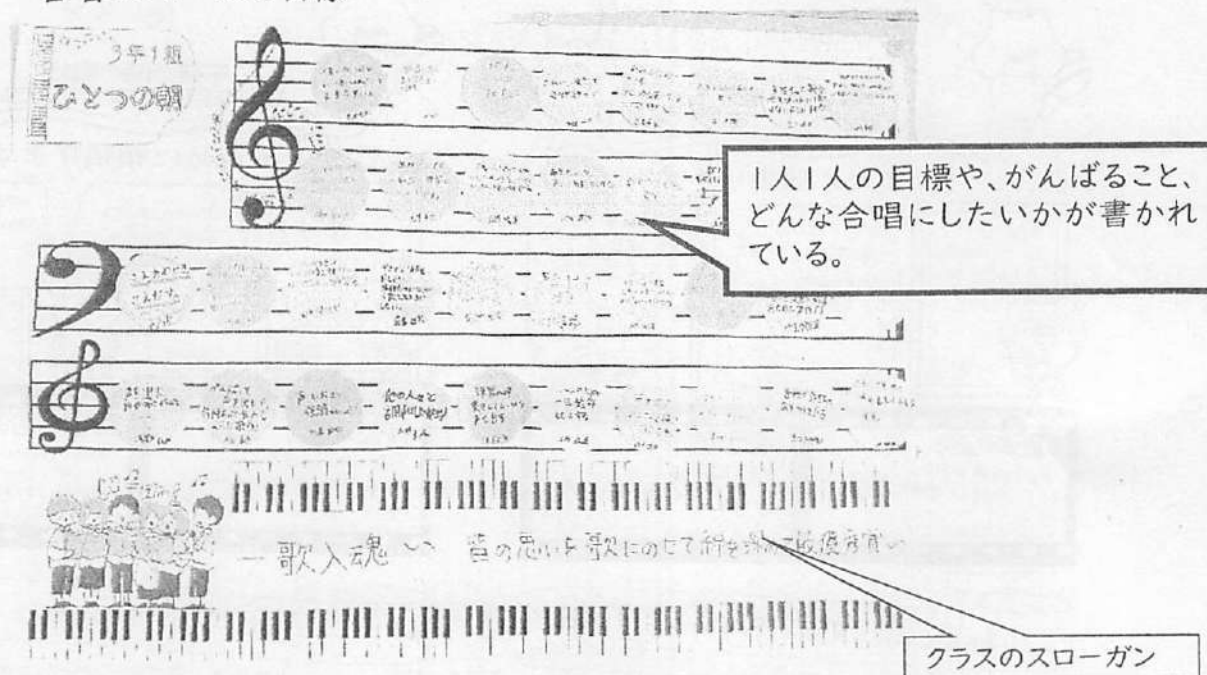


【学年共通 教室掲示物】

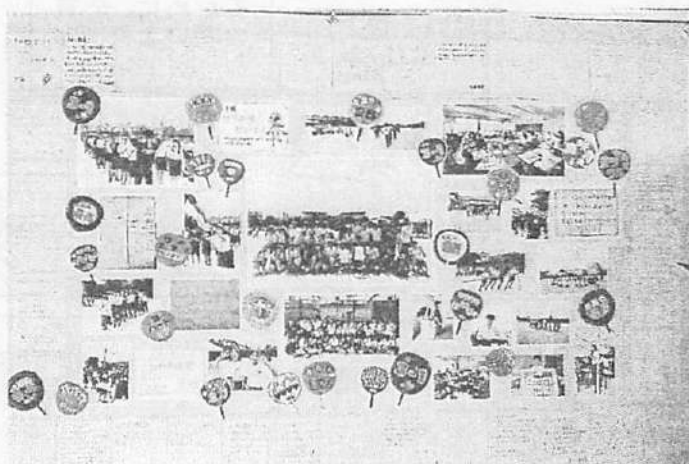
全員の意見を、みんなに見える形で
掲示物として教室に掲示している。



～合唱コンクールの目標～

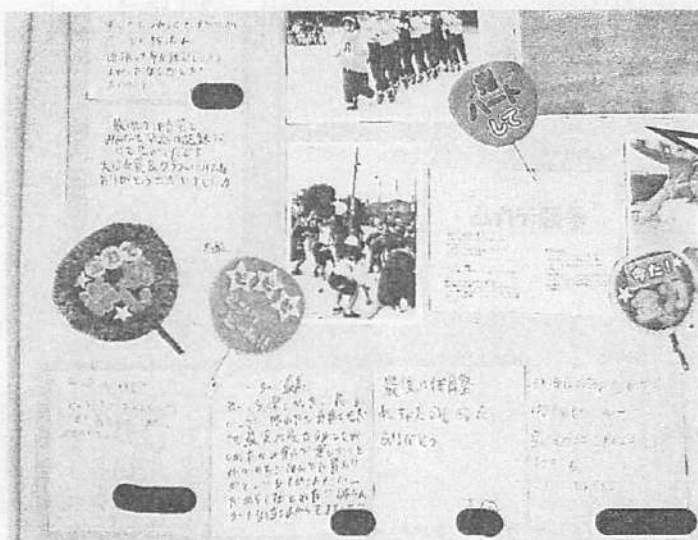


【学級独自の掲示物】



～体育祭を終えて～

中央は、活動写真が貼られ、その周りに、1人1人の感想や思いが書かれている。



上の掲示物の拡大したもの

・めっちゃ楽しかった。みんなありがとー！このメンバーだから1位がとれたと思う。これからもよろしく。

・最後の体育祭で最高の記録が出せて良かった。実行委員の2人、みんなありがとうございました。

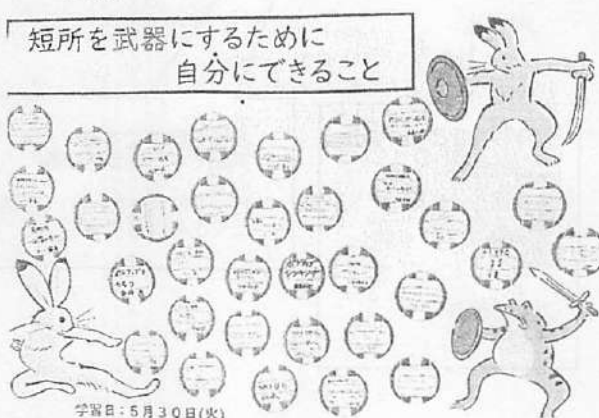
【他教科との連携】

～国語～



行事ごとに一句一首を書かせ、廊下掲示し、生徒による投票をして金賞を決めている。

～道徳～

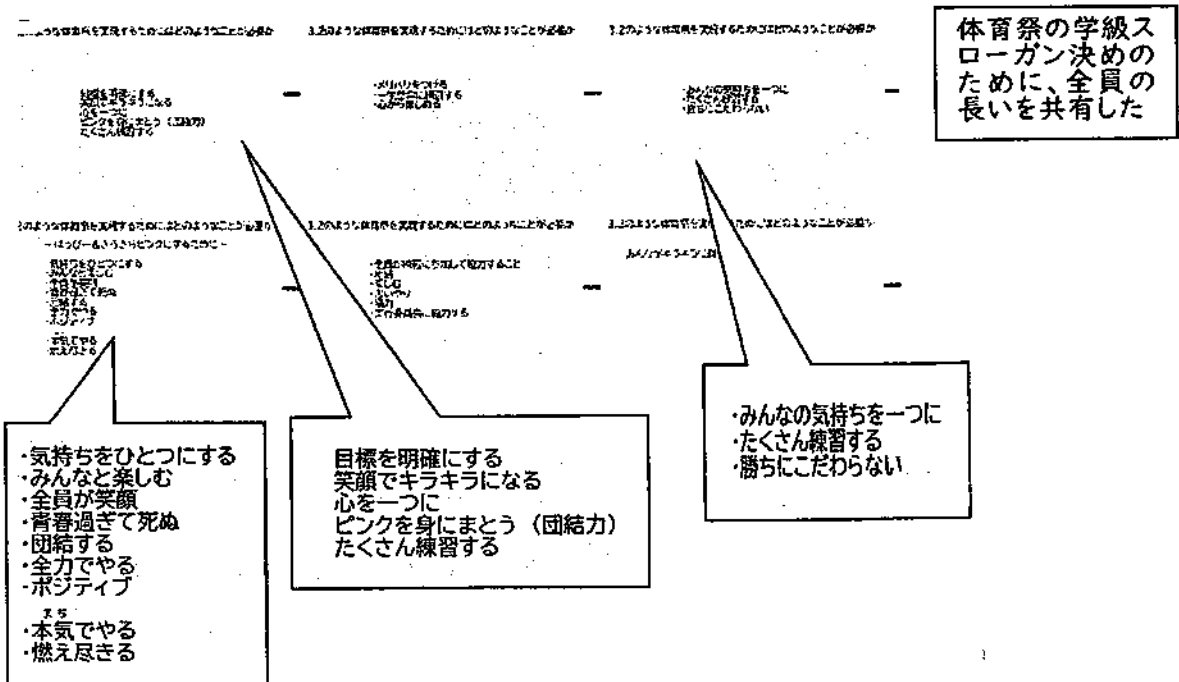
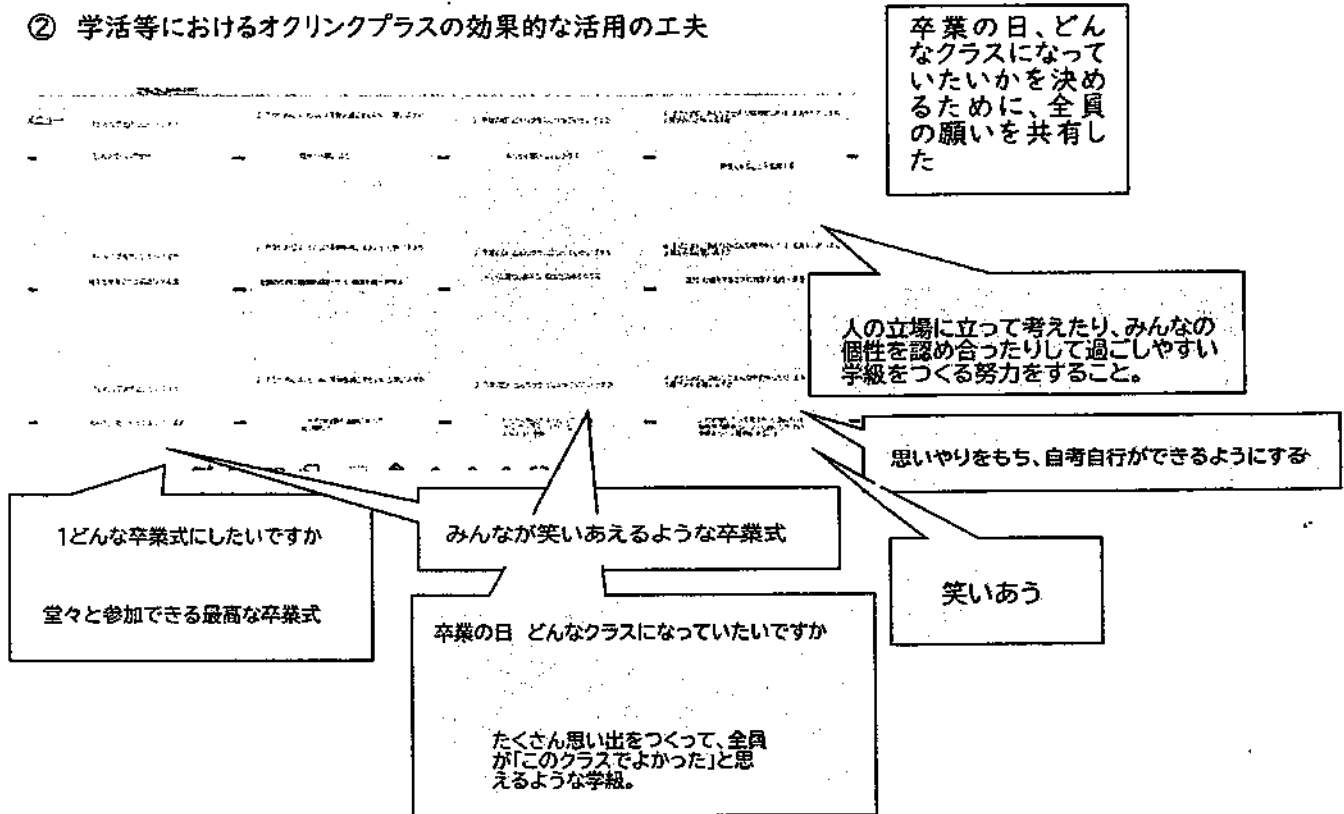


短所を武器にするために
自分にできること

学習日：5月30日(火)

1人1人の考えを、掲示物にしている。

② 学活等におけるオクリンプラスの効果的な活用の工夫



③ 行事の事前指導、当日の活動、事後指導の効果的な活用の工夫

どんな校外学習にしたい？

組 番 名前

6月14日(金)は校外学習です。みんなで協力して1つのものを作りあげる。そんな中で、お互いの良さを、クラスメイトの良さを、たくさん見つけましょう。

1 校外学習で楽しみなことは何ですか？

2 どんな校外学習にしたいですか？

3 校外学習でがんばりたいことはなんですか？

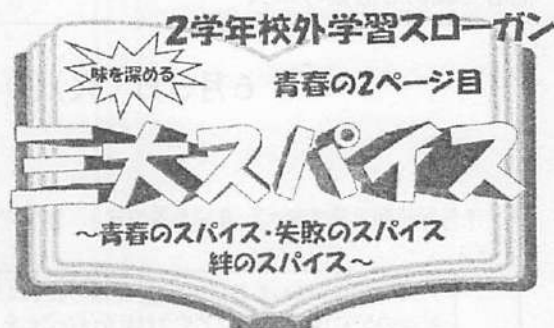
4 校外学習を終えた時、今と比べて、班やクラスはどうなっていてほしいですか？

シャバシャバなカレーだって
人々がかきたって
ごはんが揚げたって
それも青春

大雨だったら、より忘れられない最高の青春。

スネが熱い中、重傷の火を守るアインの姿に憧れる
最後の最後まで水場をきれいにするアインの姿に憧れる
名司会でバスレクを盛り上げるアインの姿に憧れる
旗ごうをピカピカに磨き上げるアインの姿に憧れる
みんなを笑顔にしながらチームを引っ張るアインの姿に憧れる

班別行動だけでは得られない面白い思い出を
みんなで作りあげよう！！



～カメラじゃ撮れない
青春がある～

令和7年度3学年修学旅行スローガン

予餞会 MVP

理由

理由

自分振り返って

3年生の様子を見て

心が動いた瞬間

予餞会本音の出来

予餞会を通して
自分が成長したこと

今日の予餞会を一言で表すと...

体育祭 クラスの MVP

理由

理由

理由

自分振り返って

3-3の心臓を捧げた瞬間

1つになった瞬間は... そのときのハート(想い)

準備体操
の後の円陣

絶対に勝つ！！

これから最高のクラスにするために
自分ができることはなんだろう

実行委員の話をしっかり聞け

みんなの声をしっかり聞け

実行委員やバレーボール
の話をしっかり聞く

体育祭を漢字一文字で表すと？

最

④ 他者を認める活動の工夫

6月3日(火)④ 体育祭新聞

体育祭新聞を見せ合って、互いを褒め合う 担任が流す 20分(2分×10人)

クラスメイトの秘めた思いを知り、友達の良いさに気づく
友達のがんばっていたことやうれしかったことを互いに褒め合い、仲を深める

- (1) 机を後ろに寄せる
- (2) 教室の前に椅子と筆記用具と下敷きをもって、円になる
- (3) 担任は、ランダムに新聞と感想を書くプリントを配る
- (4) 生徒は、手元に来た新聞を読み、感想を書くプリントに感想や、体育祭当日、練習などでの、その人への感謝やがんばっていたことと自分の名前を書く
※読む時間1分 書く時間1分 タイマーで担任がはかる
- (5) 担任の合図で、次の人に、新聞と感想を書くプリントをセットでまわす
- (6) 繰り返し
- (7) 15人目の感想を書き終えたら、本人に戻さず、担任が回収する

※担任は、へんな感想がないか点検する

※新聞にスタンプを押す

※廊下のポッケに、感想のプリントと、新聞をセットにして入れる 6/6(金)メ切

体育祭で

体育祭新聞をクラスの中で読み合って、新聞についての感想や、体育祭のがんばりを認め合った。

体育祭であなたに一言

組 番 名前

人への感謝や応援の気持ち	たいさくよくがんばった
体育祭の楽しさ	みんなが一生懸命だった
自分たちががんばったこと	みんなが一生懸命だった
体育祭の楽しさ	みんなが一生懸命だった
自分たちががんばったこと	みんなが一生懸命だった

⑤ 学年レクの充実

1学期 学年レク実行委員 募集!!

新しい環境に期待と不安が入り混じった1学期。楽しいこと、辛いこと、嬉しいこと、
恐れたこと...色々なことがあったと思います。2学期は部活をはじめ、様々な場面
で君たちがリーダーとなって、学校を引っ張っていくことになります。そこで、さらに団
結力を高めるために学年レクを行います!実行委員を募集するので、我こそは!!!!!!
というその君!!!!ぜひ立候補してください!



ボム! お祭り人間!!

締め切り: 6月26日(水)

募集人数: 各クラス1名

応募方法: 立候補用紙を担任の先生にもらい、松野先生に提出

こんな人に来てほしい!!

- ・学年レクに誰よりも燃え上がることができる人
- ・「全員が楽しい」を追求できる人
- ・学年のリーダーとして集団を引っ張ろうとする人
- ・楽しむ場面と、真剣になる場面の切り替えができる人

1学期は、お祭り人間タイプの
実行委員を募集した

3学期 学年レク開催決定!!

3学期の学年レクが3月18日に行われます!!!

2年生最後のレクを盛り上げてくれる実行委員を募
集します!

募集締め切り: 2月26日(火)

募集人数: 各クラス1名

応募条件: 今年度、全ての行事の実行委員と学年レク実行委員
をやっていない人(評議も生徒会もダメ!)

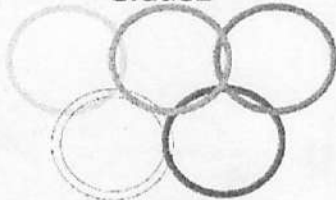
応募方法: 担任の先生に言いく!



3学期は、まだ活躍していな
い人を募集した

2024冬季ヒラオリピック

Grade2



2024

レク実行委員が考えた
レク大会名とロゴデザ
イン

レク実行委員が考えた
レク大会名とロゴデザ
イン



進級しなきゃダメですか?

2年生楽しすぎてこのまま時よ止まレク大会

(2) 役割を果たす取り組み (課題対応能力)

3 学年 今週の目標

「挨拶・歌・清掃」輝かせよう!

具体的な手立て

1学期、毎週の目標達成にむけて学年で頑張ってきました。

さあラスト1週間!

- ① 相手に伝わる爽やかな挨拶をする
 - ② 毎日の歌練習で歌声を響かせる
 - ③ チャイムからチャイムまで一生懸命掃除する
- 全部に心を込め、みんなで意識して、いい締めくくりをして夏休みを迎えよう!

評議員が毎週、その週の学年の改善すべき点について話し合い、翌週の目標を決めている。

評議員が解決策を考えて、他の委員会とも連携して取り組みを行っている。

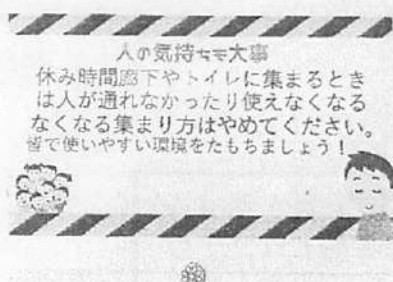
【取り組み例】

「朝の遅刻を減らそう」

評議員が当番を決め、昇降口前を教室前の階段で声かけをした。

「2分前学習を徹底しよう」

何を勉強したらいいかわからない人がいるという声から、教科係が教科担任に勉強するところを聞いて、黒板に書くことにした。教科係が忘れていた時は、評議員が、教科係に声をかけることにした。



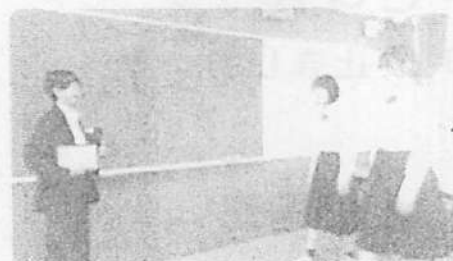
評議員が作成したポスター



WIN_20250414_...



机の運び方
～悪い例～



評議員が作成した気持ちのいいあいさつの仕方動画

環境委員と生徒会が連携して作成した、正しい清掃の仕方動画

修学旅行実行委員の
活動計画

実行委員は各係の係長となって、その係の企画・運営を行っている。

部屋やお風呂の順番については、実行委員が、クラスで争奪戦を行いたいと計画し、英単語テストの満点者の数と担任じゃんけんで決めた。

日にち	流れ	学級	実行委員	係
5月23日(金)朝	〃	実行委員アンケート	〃	〃
〃 午の会	〃	オリエンテーション	〃	〃
26日(月)⑤	〃	班長会議	〃	〃
27日(火)⑥	〃	〃	〃	〃
28日(水)朝	〃	〃	実行委員長・各係決め	〃
30日(金)朝	〃	〃	2日(月)⑤の夜前分組決め	〃
6月 2日(月)⑥	〃	大野さん講話	〃	〃
3日(火)朝	〃	〃	係会①の打ち合わせについて・係決めについて	〃
3日(火)⑥	〃	調べ学習 見せ合い会&係決め	〃	〃
4日(水)昼	〃	〃	〃	係長と担当職員 係会①の打ち合わせ
9日(月)朝	〃	〃	スローガン決めについて	〃
10日(火)⑥	〃	スローガン決め	〃	〃
11日(水)放	〃	〃	部屋・風呂の順番 どうする?	〃
学級優先	〃	〃	〃	〃
12日(木)⑤	〃	係会①	〃	係長挨拶・仕事内容確認・目標決め・作業
16日(月)⑤	〃	班別行動計画①	〃	学習係が中心で決す。準備 OK?
19日(木)⑤	〃	係会②	〃	〃
27日(金)放	しおり原稿	〃	〃	〃
30日(月)⑤	班別行動計画	〃	〃	〃
放	班別行動計画	〃	〃	〃
案者提出	〃	〃	〃	〃
7月 3日(木)⑤	〃	部活決め	〃	〃
7日(月)放	班別行動計画	〃	〃	〃
案者から返却	〃	〃	〃	〃
10日(木)⑤	〃	係会③	〃	〃
放 学級優先	〃	〃	しおり印刷	〃

先生方は、打ち合わせまでに
係の仕事や分限確認
係会の流れを覚えておく

係長との打ち合わせは
確認、行ってください

14日(月)放	班別行動計画 完成&提出	〃	〃	〃
18日(金)放	職員しおり とし込み	〃	〃	〃
9月 1日(月)放	学年しおり 読み合わせ	〃	〃	〃
2日(火)放	引事者会議?	〃	〃	〃
3日(水)放	引事者会議?	〃	〃	〃
4日(木)朝	〃	〃	4日までの流れ方について	〃
⑤	持ち物・所持品確認・バス座席	〃	〃	〃
放	〃	〃	しおり読み合わせについて ①・②・③ 係会	〃
5日(金)朝	〃	〃	〃	〃
8日(月)⑤	しおりとし込み	〃	〃	〃
9日(火)⑥	しおり読み合わせ①	〃	〃	〃
10日(水)放	〃	〃	〃	〃
学級優先	〃	〃	〃	〃
11日(木)⑤	係会しおり読み合わせ&班会議	〃	〃	〃
18日(水)朝	〃	〃	事前指導について	〃
19日(金)放	学校荷物運り	〃	〃	〃
22日(月)朝	荷物郵送	〃	〃	〃
⑤	〃	〃	〃	〃
23日(火・祝)	〃	〃	〃	〃
24日(水)	修学旅行	〃	〃	〃
25日(木)	〃	〃	〃	〃
26日(金)	代休	〃	〃	〃
29日(月)⑤	〃	〃	事後指導	〃

【仮説2の取り組みと成果】

(1) 自己の個性や学習状況を確認する取り組み

(自己理解・自己管理能力)

～自分に合った勉強法について考える授業でのパワーポイントの抜粋～

「無駄をなくす」ために

フリレン
実力テスト
家庭学習
を頑張ってみよう



効率よくやろう！

他の中学生に差をつけよう！
効率よく勉強！自分に合った方法
を早く見つけよう！
無駄をなくそう！



活用しよう！
実力テスト😊

自己評価ができる
弱点の発見
進捗確認
試験対策の準備
時間管理能力の向上

家庭学習とは宿題を含む

家庭での自主学習のこと

実は家庭学習って・・・



今までの家庭学習は

- ◆ 読み書きや計算など基礎学習能力の向上
- ◆ 学習内容の定着を図る
- ◆ 勉強の習慣を身につける



活用しよう！
家庭学習😊

授業の予習・復習
定期テスト用の勉強
1・2年の苦手克服
実力テストでわから
なかった範囲の復習
時間管理の練習

Q1 授業のノートであなたが
一番好きなのは？

- A) マーカーで色分けやイラストなどを加えたノート
- B) 先生が話したことをそのまま書きとったノート
- C) 要点を端的に記し、関係性などを図にしたノート

自分の特性を理解しよう。

目を見て覚えることが得意
読んで理解して覚えることが得意
耳で聞いて覚えることが得意



自分にはどのタイプでしょうか？
自分の特性がわかったら、とにかく
好きな勉強しよう。一日10時間！

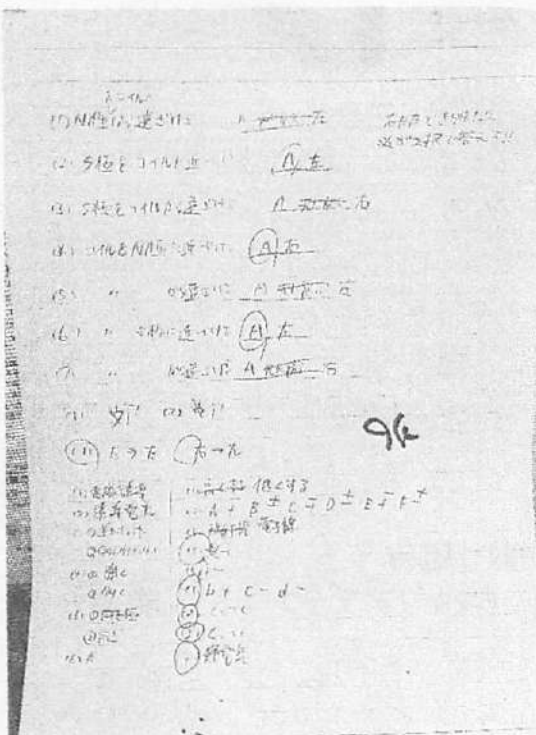
- ・ 語呂合わせをする
- ・ 想像したイメージを一度絵にする
- ・ 理屈から理解する
- ・ 「〇〇だから〇〇になる」という順序立てる
- ・ 家系図や相関図など、覚えたい情報の要点をまとめて図式化する



実力テスト・カテガク
を生かして
自分に合った勉強法
を早く見つけよう！

～授業後の家庭学習の取り組みの変化～

【授業前】



【授業後】



1回ずつ漢字を書きただけだったが、自分でテストをして満点になるまで学習するようになった。

「視覚優位」だということが分かって、とにかくたくさん書いて覚えるようになった。

漢字	漢字	漢字
① 信	① 信	① 信
② 信	② 信	② 信
③ 信	③ 信	③ 信
④ 信	④ 信	④ 信
⑤ 信	⑤ 信	⑤ 信
⑥ 信	⑥ 信	⑥ 信
⑦ 信	⑦ 信	⑦ 信
⑧ 信	⑧ 信	⑧ 信
⑨ 信	⑨ 信	⑨ 信
⑩ 信	⑩ 信	⑩ 信
⑪ 信	⑪ 信	⑪ 信
⑫ 信	⑫ 信	⑫ 信
⑬ 信	⑬ 信	⑬ 信
⑭ 信	⑭ 信	⑭ 信
⑮ 信	⑮ 信	⑮ 信
⑯ 信	⑯ 信	⑯ 信
⑰ 信	⑰ 信	⑰ 信
⑱ 信	⑱ 信	⑱ 信
⑲ 信	⑲ 信	⑲ 信
⑳ 信	⑳ 信	⑳ 信
㉑ 信	㉑ 信	㉑ 信
㉒ 信	㉒ 信	㉒ 信
㉓ 信	㉓ 信	㉓ 信
㉔ 信	㉔ 信	㉔ 信
㉕ 信	㉕ 信	㉕ 信
㉖ 信	㉖ 信	㉖ 信
㉗ 信	㉗ 信	㉗ 信
㉘ 信	㉘ 信	㉘ 信
㉙ 信	㉙ 信	㉙ 信
㉚ 信	㉚ 信	㉚ 信
㉛ 信	㉛ 信	㉛ 信
㉜ 信	㉜ 信	㉜ 信
㉝ 信	㉝ 信	㉝ 信
㉞ 信	㉞ 信	㉞ 信
㉟ 信	㉟ 信	㉟ 信
㊱ 信	㊱ 信	㊱ 信
㊲ 信	㊲ 信	㊲ 信
㊳ 信	㊳ 信	㊳ 信
㊴ 信	㊴ 信	㊴ 信
㊵ 信	㊵ 信	㊵ 信
㊶ 信	㊶ 信	㊶ 信
㊷ 信	㊷ 信	㊷ 信
㊸ 信	㊸ 信	㊸ 信
㊹ 信	㊹ 信	㊹ 信
㊺ 信	㊺ 信	㊺ 信

～実力テストの分析表～

[illegible]

姓名	田村 昌子		家庭住址 (包括邮政编码)		家庭电话 (包括国际区号)	
国籍	日本		出生年月日		性别	
社会	无党派		职业		学历	
数学	高中毕业		特长		爱好	
理科	高中毕业		其他		其他	
英语	高中毕业		其他		其他	

1. 请简述你对本国的认识 (包括历史、地理、文化、经济、政治、社会等方面)

日本是一个位于东亚的岛国，由四个主要岛屿组成。它有着悠久的历史和文化，是世界上主要的发达国家之一。日本在第二次世界大战后经历了快速的经济发展，成为世界第二大经济体。日本的社会制度是君主立宪制，天皇是国家元首，但实际上权力由首相和内阁行使。日本的文化非常独特，融合了传统和现代元素。日本在国际事务中扮演着重要的角色，是联合国安理会常任理事国之一。

2. 请简述你对中国的认识 (包括历史、地理、文化、经济、政治、社会等方面)

中国是一个位于东亚的陆地大国，有着悠久的历史和文化。中国是世界上人口最多的国家之一，也是世界上最大的发展中国家。中国有着悠久的历史和灿烂的文化，是世界上四大文明古国之一。中国的政治制度是社会主义制度，中国共产党是唯一的执政党。中国的经济在过去几十年里经历了快速的成长，成为世界第二大经济体。中国的社会制度是社会主义制度，强调集体主义和共同富裕。中国在国际事务中扮演着越来越重要的角色，是联合国安理会常任理事国之一。

日语	英语	数学	理科	英语	合计
100	100	100	100	100	500

3. 请简述你对日本和中国关系的认识

日本和中国之间的关系非常复杂，既有合作也有竞争。在历史上，日本对中国进行了侵略，给中国人民带来了巨大的痛苦。战后，日本成为中国的邻国，两国关系逐渐正常化。在20世纪70年代，中日关系实现了正常化，两国在经济、文化、教育等领域开展了广泛的交流与合作。然而，近年来，随着中日关系的紧张，两国在钓鱼岛问题、东海问题、历史问题等方面存在分歧。尽管如此，日本和中国都是亚洲的重要国家，两国关系的稳定和发展对亚洲乃至世界的和平与繁荣都有着重要的影响。

4. 请简述你对国际关系的认识

国际关系是指国家与国家之间、国家与地区之间、地区与地区之间的关系。国际关系的本质是利益关系，国家在国际事务中追求自身的利益。国际关系的格局正在发生深刻的变化，多极化趋势日益明显。中国在国际事务中奉行独立自主的和平外交政策，坚持和平发展道路，推动构建人类命运共同体。中国积极参与全球治理，为世界和平与发展作出了重要贡献。

(2) キャリアについての課題を見い出す取り組み
(キャリアプランニング能力)

～1年時 職場体験的校外学習の実施について～

- ① 目的
- (1) 「学習」ことの意義について広い視野で考え、自分の「学習」目的について考え、勉強への関心・意欲を高める。
- (2) 自分の将来について、目的意識を育てていく勉強方法を求め、「今、何をすべきか」を考える。

- 2 参加生徒 (予定)
第1学年 152名 (男子73名、女子79名)

- 3 日時
令和5年 11月2日(木)

- 4 日程 7:15 バス 10:00~12:00 12:30 14:30
 四国道北中学校出発→茨城県内キャリア教育研修→茨城県第一山・公園散策→山ノ公園土金
 バス 16:30
 →四国道北中学校着

- 5 平素所担当職員と生徒の人数 体験時間・料金

事業名	参加人数	体験時間	料金
ソフトテニ	6人	60分	1000円
国語習	21人	60分	
特別家庭科	40人	120分	3300円
三友会などとの交流	20人	90分	300円
日本銀行	20人	60分	
日本映画村	20人	120分	
古くから歴史	25人	60分	

- (1) 英斤委員を中心にして英斤や各係が計画立案や準備にあたり、責任を持って行動させる。
- (2) 学年報告、活動報告、既成時にて判断としてのあり方を理解させ指導する。
- (3) 安全・保健について徹底する。

10. 平疫指導
- (1) 実行委員、班委会、学級ごとに反省会を行う。
 - (2) 個人新聞を作製して、席上に掲示する。

～職場体験の取り組み～

職場体験活動前)

記入日 26 年 10 月 27 日

職場体験活動のねらい

人との関わり方を学ぶ。仕事の視野を広げる。

「働くこと」についての今の考え(「働く」ということに、どのようなイメージや考えをもっているか)

お金をかせくためになくてはならない動作、習慣。

職場体験活動を通して学ぶこと(なぜ、自分は職場体験活動を行うのか)・経験したいこと

介護職の大変さ、楽しさ。失礼のない関わり方。

今の自分の課題(生かしたい・伸ばしたい自分のよき・知りたいこと)

自ら会話をする。つながる。

(職場体験活動後)

記入日 26 年 11 月 5 日

職場体験活動で、嬉しかったこと・自信がついたこと

入居者の方に「ありがとう」と言ってもらえたこと

職場体験活動で、難しかったこと・うまくいかなかったこと

お話し、少しとまどいました。

職場体験活動を通して、自分の伸ばせたところ・新しく発見できたところ

人の目を見て話を聞けることができた。

「働くこと」についての今の考え(体験を通してどのように考えが変わったか・変わらなかったか)

自分が楽しいと思つて、他人も楽しいです

職場体験活動を終えて、これからの自分の進路や将来について考えていること

老人ホームもいいなと思つた。

自分が楽しいと思える職場を探しています。

[illegible]

第48回～第50回

□ 60. 7. 1 - 7. 2 の終りの誤脱を訂正し、表紙(組入部)

090.28-43A12401.3B 1 8400

1945年10月10日，国民党政府与中国共产党在重庆签订了《双十协定》，规定在和平建国的基础上，实现国家的统一和民族的团结。这一协定是国共两党在长期斗争后达成的重要成果，为战后中国和平建国的进程奠定了基础。

完

● 1995 年 6 月 5 日 星期二

(7) 1970-1980: 1970-1980

此種結果亦非偶然，蓋該所內各樹系均下種於此。

'A-Z-00' 'A-Z-00' 'A-Z-00' 'A-Z-00' 00, (60)

[illegible]

0-7-11-222980, 4-6-11-767253, 21-10-77-9Y2-1) 1B.

「2447.046.185422572.2.18300. (47)

「この本は、毎週7500冊のペースで出版--200」

8802544702.8 : 70808573, 2400200.

13212743

757. 2. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 841

第 19 頁 共 24 頁

“我”字在句首，句首的“我”字，是代词，是主语，是“我”字句，(56)

(7) 1978年4月22日, (7) 1978年5月14日, (7) 1978年5月22日, (7) 1978年5月29日, (7) 1978年6月5日, (7) 1978年6月12日, (7) 1978年6月19日, (7) 1978年6月26日, (7) 1978年7月3日, (7) 1978年7月10日, (7) 1978年7月17日, (7) 1978年7月24日, (7) 1978年7月31日, (7) 1978年8月7日, (7) 1978年8月14日, (7) 1978年8月21日, (7) 1978年8月28日, (7) 1978年9月4日, (7) 1978年9月11日, (7) 1978年9月18日, (7) 1978年9月25日, (7) 1978年10月2日, (7) 1978年10月9日, (7) 1978年10月16日, (7) 1978年10月23日, (7) 1978年10月30日, (7) 1978年11月6日, (7) 1978年11月13日, (7) 1978年11月20日, (7) 1978年11月27日, (7) 1978年12月4日, (7) 1978年12月11日, (7) 1978年12月18日, (7) 1978年12月25日, (7) 1979年1月1日, (7) 1979年1月8日, (7) 1979年1月15日, (7) 1979年1月22日, (7) 1979年1月29日, (7) 1979年2月5日, (7) 1979年2月12日, (7) 1979年2月19日, (7) 1979年2月26日, (7) 1979年3月5日, (7) 1979年3月12日, (7) 1979年3月19日, (7) 1979年3月26日, (7) 1979年4月2日, (7) 1979年4月9日, (7) 1979年4月16日, (7) 1979年4月23日, (7) 1979年4月30日, (7) 1979年5月7日, (7) 1979年5月14日, (7) 1979年5月21日, (7) 1979年5月28日, (7) 1979年6月4日, (7) 1979年6月11日, (7) 1979年6月18日, (7) 1979年6月25日, (7) 1979年7月2日, (7) 1979年7月9日, (7) 1979年7月16日, (7) 1979年7月23日, (7) 1979年7月30日, (7) 1979年8月6日, (7) 1979年8月13日, (7) 1979年8月20日, (7) 1979年8月27日, (7) 1979年9月3日, (7) 1979年9月10日, (7) 1979年9月17日, (7) 1979年9月24日, (7) 1979年9月30日, (7) 1979年10月7日, (7) 1979年10月14日, (7) 1979年10月21日, (7) 1979年10月28日, (7) 1979年11月4日, (7) 1979年11月11日, (7) 1979年11月18日, (7) 1979年11月25日, (7) 1979年12月2日, (7) 1979年12月9日, (7) 1979年12月16日, (7) 1979年12月23日, (7) 1979年12月30日, (7) 1980年1月6日, (7) 1980年1月13日, (7) 1980年1月20日, (7) 1980年1月27日, (7) 1980年2月3日, (7) 1980年2月10日, (7) 1980年2月17日, (7) 1980年2月24日, (7) 1980年3月2日, (7) 1980年3月9日, (7) 1980年3月16日, (7) 1980年3月23日, (7) 1980年3月30日, (7) 1980年4月6日, (7) 1980年4月13日, (7) 1980年4月20日, (7) 1980年4月27日, (7) 1980年5月4日, (7) 1980年5月11日, (7) 1980年5月18日, (7) 1980年5月25日, (7) 1980年6月1日, (7) 1980年6月8日, (7) 1980年6月15日, (7) 1980年6月22日, (7) 1980年6月29日, (7) 1980年7月6日, (7) 1980年7月13日, (7) 1980年7月20日, (7) 1980年7月27日, (7) 1980年8月3日, (7) 1980年8月10日, (7) 1980年8月17日, (7) 1980年8月24日, (7) 1980年8月31日, (7) 1980年9月7日, (7) 1980年9月14日, (7) 1980年9月21日, (7) 1980年9月28日, (7) 1980年10月5日, (7) 1980年10月12日, (7) 1980年10月19日, (7) 1980年10月26日, (7) 1980年11月2日, (7) 1980年11月9日, (7) 1980年11月16日, (7) 1980年11月23日, (7) 1980年11月30日, (7) 1980年12月7日, (7) 1980年12月14日, (7) 1980年12月21日, (7) 1980年12月28日, (7) 1981年1月4日, (7) 1981年1月11日, (7) 1981年1月18日, (7) 1981年1月25日, (7) 1981年2月1日, (7) 1981年2月8日, (7) 1981年2月15日, (7) 1981年2月22日, (7) 1981年2月29日, (7) 1981年3月6日, (7) 1981年3月13日, (7) 1981年3月20日, (7) 1981年3月27日, (7) 1981年4月3日, (7) 1981年4月10日, (7) 1981年4月17日, (7) 1981年4月24日, (7) 1981年4月30日, (7) 1981年5月7日, (7) 1981年5月14日, (7) 1981年5月21日, (7) 1981年5月28日, (7) 1981年6月4日, (7) 1981年6月11日, (7) 1981年6月18日, (7) 1981年6月25日, (7) 1981年7月2日, (7) 1981年7月9日, (7) 1981年7月16日, (7) 1981年7月23日, (7) 1981年7月30日, (7) 1981年8月6日, (7) 1981年8月13日, (7) 1981年8月20日, (7) 1981年8月27日, (7) 1981年9月3日, (7) 1981年9月10日, (7) 1981年9月17日, (7) 1981年9月24日, (7) 1981年9月30日, (7) 1981年10月7日, (7) 1981年10月14日, (7) 1981年10月21日, (7) 1981年10月28日, (7) 1981年11月4日, (7) 1981年11月11日, (7) 1981年11月18日, (7) 1981年11月25日, (7) 1981年12月2日, (7) 1981年12月9日, (7) 1981年12月16日, (7) 1981年12月23日, (7) 1981年12月30日, (7) 1982年1月6日, (7) 1982年1月13日, (7) 1982年1月20日, (7) 1982年1月27日, (7) 1982年2月3日, (7) 1982年2月10日, (7) 1982年2月17日, (7) 1982年2月24日, (7) 1982年3月2日, (7) 1982年3月9日, (7) 1982年3月16日, (7) 1982年3月23日, (7) 1982年3月30日, (7) 1982年4月6日, (7) 1982年4月13日, (7) 1982年4月20日, (7) 1982年4月27日, (7) 1982年5月4日, (7) 1982年5月11日, (7) 1982年5月18日, (7) 1982年5月25日, (7) 1982年6月1日, (7) 1982年6月8日, (7) 1982年6月15日, (7) 1982年6月22日, (7) 1982年6月29日, (7) 1982年7月6日, (7) 1982年7月13日, (7) 1982年7月20日, (7) 1982年7月27日, (7) 1982年8月3日, (7) 1982年8月10日, (7) 1982年8月17日, (7) 1982年8月24日, (7) 1982年8月31日, (7) 1982年9月7日, (7) 1982年9月14日, (7) 1982年9月21日, (7) 1982年9月28日, (7) 1982年10月5日, (7) 1982年10月12日, (7) 1982年10月19日, (7) 1982年10月26日, (7) 1982年11月2日, (7) 1982年11月9日, (7) 1982年11月16日, (7) 1982年11月23日, (7) 1982年11月30日, (7) 1982年12月7日, (7) 1982年12月14日, (7) 1982年12月21日, (7) 1982年12月28日, (7) 1983年1月4日, (7) 1983年1月11日, (7) 1983年1月18日, (7) 1983年1月25日, (7) 1983年2月1日, (7) 1983年2月8日, (7) 1983年2月15日, (7) 1983年2月22日, (7) 1983年2月29日, (7) 1983年3月6日, (7) 1983年3月13日, (7) 1983年3月20日, (7) 1983年3月27日, (7) 1983年4月3日, (7) 1983年4月10日, (7) 1983年4月17日, (7) 1983年4月24日, (7) 1983年4月30日, (7) 1983年5月7日, (7) 1983年5月14日, (7) 1983年5月21日, (7) 1983年5月28日, (7) 1983年6月4日, (7) 1983年6月11日, (7) 1983年6月18日, (7) 1983年6月25日, (7) 1983年7月2日, (7) 1983年7月9日, (7) 1983年7月16日, (7) 1983年7月23

[illegible]

トイザンズ・イン・ザ・シティ

★「7次」の文章、多すぎNG。小さすぎもNG。とにかく見やすく、足りない部分は言葉でつけたすべし。

※相手に聞こえるまで、堂々と話すべし。緊張は負ける、低くなるまで話すこと。

*ハフボに書いてあることを読むのは、難しくてさう、ヒスエ夫がブレゼンを讀みかへると心得よ。

★ゆー(り)8の字を描くように、かんざしでコブ97を取りながら結すべし。目玉結るのも大切じゃ

★メンバーの立ち位置や、果敢場所にもこだわるべし。発表の仕方の美しさにもこだわるべし。

～ 職場体験発表会 パワーポイント抜粋～

私達の目標は・・・学ぶことの礼儀や態度を将来活かせるか

礼儀を正しく身につける

場面で使う敬語を考える



体験内容

【フロア】
 氏名・年齢・所属・得意分野を自己紹介する
 各分野に対する機軸・レジ体験・

【お茶会】
 質疑応答・（お茶会・お茶会の楽しみ）
 質疑応答（パンパースーパー）

仕事をするにあたって意識したこと

- ・接客の際の言葉遣い
- ・接客をするときに笑顔で接すること
- ・声を大きくお客様に聞こえるようにすること
- ・気付いたことは直ぐに聞いて行動すること
- ・衛生面についても清潔に保てるように意識した



「働くこと」について考えたこと

自分自身で行動

大変さと難しさ

自分自身が社会に貢献しているという自覚



職場体験を通して
こんなことに「気がついた」

- ・店内での挨拶と返事！
- ・職業の働くこと
- ・責任感
- ・誰もが働きやすい環境を自らがつくる



「これからの自分」に
ついて考えたこと

- ・コミュニケーション能力の向上！！
- ・敬語と礼儀の正しさ
- ・挨拶の見直し
- ・自分の仕事に責任を持つ



2. 私達の目標は・・・



活動を通して何のために仕事をする
かを考える！



「働くとは何か」を実際に働いている
方に考えを聞いてくる！

1. 仕事をするにあたって
意識したこと

利用者の方とたくさん
話してコミュニケーションをとり、
楽しんでもらう。

利用者の方々にけが
がないよう、安全面
に配慮する。

5. コープみらいの職員の方に
とって、働くこととは

人のためにやっているようで、いいことを
した分は自分に返ってきて、自分の力にするた
めの行動

こしよくばいけんをとおして
こんなことに「きがついた」

・仕事をして感謝されたり、自分の行動が褒められ
たりすると、とてもうれしい。これをモチベーションに仕事は頑張れる
のだと気が付いた

・色んな人が、色んな仕事をしていて、1つの
仕事も成り立っているんだな、と気づいた

～アクティブラーニング展開例～

| 時配 | 活動の内容 | 指導上の留意点 | 資料 | 目指す生徒の姿と評価方法 |
|---------------|---|--|-----------------------------------|---|
| 活動の開始
5分 | <p>1 事前アンケート結果を知る。</p> <p>2 本時のめあての提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「働くこと」について考える:大切なことはなんだろう</div> | <p>・前回学習した10年後の社会と関連づけながら話をする。</p> | <p>パワーポイント
TV</p> | |
| | <p>3 「働くこと」について考える
(1)「働くうえで大切にすべきことはなんだろう」について自分の考えをタブレット(ふきだしくん)に打ち込む。</p> | <p>・個人で考える時間を確保する。
・外国籍の生徒や緘黙の生徒には、ポケトークやタブレットを使い自分の考えを伝えられるよう支援する。</p> | <p>タブレット
ふきだしくん
ポケトーク</p> | |
| 活動の展開
35分 | <p>(2)班で自分たちが店を起業するなら、どんな商売をするかを話し合う。
手順①「大切にしたいこと」を2つ決める。
②会社について話し合う。</p> <p>4 グループごとに考えを発表し、意見交換を行う。</p> | <p>・色々な考えや価値があることに気づかせ、正解・不正解はないことを十分におさえる。
・大切にしたいことを具体的に言う方法について考えさせる。
・10年後の社会をイメージさせる。
・目的がずれてしまわないよう、机間指導しながら声掛けを行う。
・アドバイスや意見を発表させる。</p> | | |
| 活動のまとめ
10分 | <p>5 振り返り
(1) 話し合いを通して感じたことと、改めて自分が大切にすべきだと思うことを書く。</p> <p>(2)「働くこと」についてのまとめ</p> | <p>・今回の活動のように、例え同じ職業であっても、それぞれが異なる想いや考え方があることに気づかせる。また、だからこそ私たちはどのように働いていくのか考えさせる。
・めあてに近い感想の生徒を指名し、まとめとする。</p> | <p>感想用紙</p> | <p>(思考・判断・表現)
・「働くこと」について他者と意見を共有しながら自分自身の考えを深めようとしている。【感想用紙】【話し合い活動】</p> |

～進路学習の導入で使ったパワーポイントの抜粋～

3 学年の進路のテーマ

「なりたい自分になるための 進路選択 & 自己実現」

～なりたい自分になるための進路に進むには～

じゃあ、
どうする？

「大人になったら、
旅行に来ている外国人に親切にできる
自分になりたい」

例えば、英語話せるようになる

コミュニケーション能力を高める 外国の文化に詳しくなる

日本の地理や歴史、文化について詳しくなる

じゃあ、次は？

「この能力が伸ばせる進路先」を
考えればいいんだ！

では
「自己実現」
とは？

自分の能力や強み

理想や目標に
向かって進む

テキストを入力

伸ばし

目標に向けて進む

目標を達成
だけでなく、
その過程にも
価値がある！

なぜ
「なりたい
自分」
になるための
進路選択が
大事なのか？

- ・人生は「選択の連続」
- ・人生は「自分で切り開いていくもの」

なんのために高校に行くの？

それが **受験の
スタート**

そこに通えば、
なりたい自分
になれるの？

どうしてその高校を選ぶの？

これが
「なりたい
自分になる
ための
進路選択」

A高校

- ・留学に力をいれている
→語学力あがるかも！

B高校

- ・話し合いの多い授業
・企画や交渉して自分達で計画する
修学旅行
→コミュ力あがるかも！

C高校

- ・駅から近い・通学時間が短い
→自分の時間がとれる！
- 世界遺産検定とれる！

じゃあ私は
ココがいい！！

なりたい
自分を
探す

- ・ひとりじゃ大変。学年、クラスみんなと一緒に探していこう
- ・24日外部講師の先生の授業があります。参考に！

進路選択

1年間をかけて、おうちの人や担任の先生と相談しながら考えていこう

なりたい自分
になる

今日が第1回目！スタートの日！

～なりたい自分を見つけるための授業～

4月24日(木)⑤ 進路学習会 講師:おおぞら高校

目的

- ①今年の進路のテーマである「なりたい自分になるための進路選択&自己実現」のために、まずなりたい自分について考える機会とする。
- ②なりたい自分になるために、進路選択も、受験勉強も、人としての成長も、明日から頑張っていこうという意欲を持たせる。
- ③グループディスカッションを通して、みんなのなりたい自分を知ったり、思いに触れたりすることで、学年でチームとして受験期を乗り切っていく雰囲気を作る。

12:50 ごちそうさま

12:57 普席完了 & 廊下整列・出発

13:05~14:25 授業

(司會)

- ①初めの言葉
②講師紹介
③授業

近くの生徒とディスカッションタイムがあります。
担任の先生は、クラスに入って指示を出す。

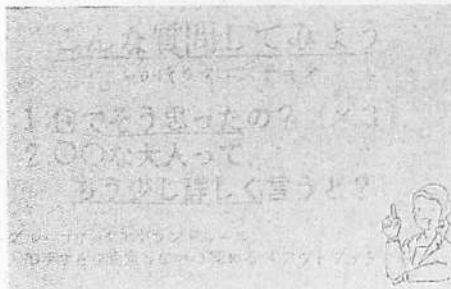
担任の先生は、ディスカッション中、期間巡視をお願いします。基本、おおぞらの先生が、1クラス1名ついてくれます。

14:25~14:35 お礼の言葉&感想

- ①感想 複数名

2. 討論 ()

③講解設備 先導



みらいの描き方講座 感想記入シート

1945年 5月 10日 星期三 34

「N」の存在が、演義によって強調されるのは、大體この時期である。

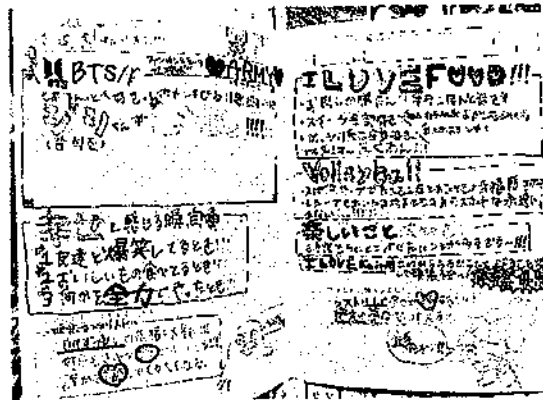
本日の授業を受けての「気づき」や「感想」
/ を伝えてください。

[illegible]

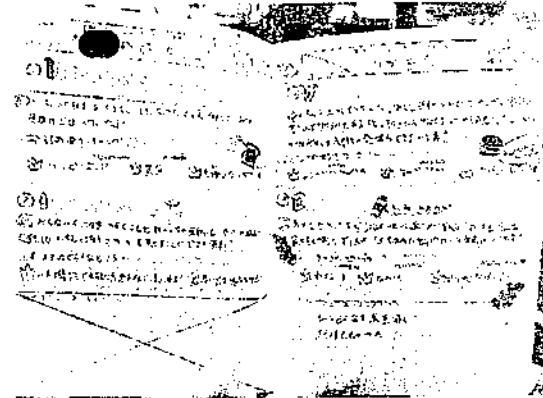
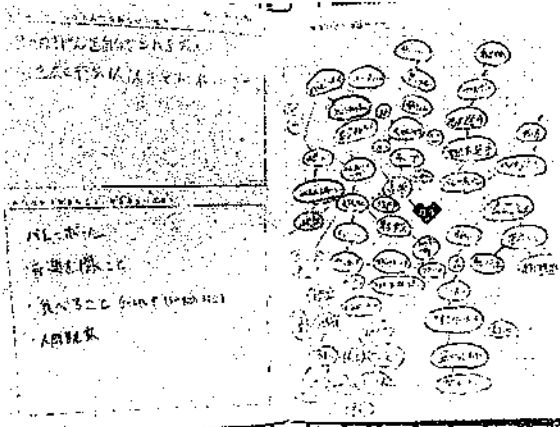
【Aさんのみらいノート】

あなたは、今どんな大人になれたら幸せ？

・お姉ちゃんみたいになる大人
→今も自分の夢に向かって努力していて、自分に努力できる大人になりたいから。
・何かに見せて、いって、笑顔になる大人
・人のことをちゃんと考えられる大人
・笑顔をたくさん、先人のことを覚えておく大人
・誰かを笑顔にできる大人



【Bさんのみらいノート】



～高校見学の計画表～

なりたい自分になるための高校選びをする①

① 自分がなりたい大人

↓

② 自分がなりたい大人になるための高校

↓

③ 自分がなりたい大人になるための高校

④ 自分がなりたい大人になるための高校

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |

⑤ 自分がなりたい大人になるための高校

⑥ 自分がなりたい大人になるための高校

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |

| 高校名 | 公立 | 私立 |
|-------------------|----|----|
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |
| 自分がなりたい大人になるための高校 | | |